

# ☆ 四日市での LPS-P2 効果 ☆

光害にうんざりの太田

自宅アパートは四日市中心部より北側に位置し、名古屋市街に近いことは紹介済である。最近では月と太陽が主食になっており、惑星は観望もするが撮影するには 13cm では光量不足を感じている。流星群の時期にはアパートの前で 30 秒露出を連打することもある。星夜写真が撮れないのかというところでもない。但し、露出条件によっては真っ白になってしまい使いものにならない。



これまで気になっていた光害フィルタを入手したのでテストしてみた。

撮影条件を同じにしてみたところ、生画像はノーフィルタではかなり白くなってしまっているのに対して、フィルタを装着するとかなりの星が確認できるようになる。但し、全体に青みがかったものになるため、画像処理は大変である。

同じ明るさになるように処理を行うと、極端には差が無いように感じるが、フィルタ装着の方が暗い星が明らかに多く見えるようになる。これはバックグラウンドレベルが低くなったことで、恒星とのコントラスト差が大きくなり、暗い星まで見えてきたということであり、それなりの効果があるようだ。

## 撮影条件

2011-4-29 23:30

PENTAX 100SDUF

2 インチ用 LPS-P2 有/無

Nikon D5000 ISO640 60 秒

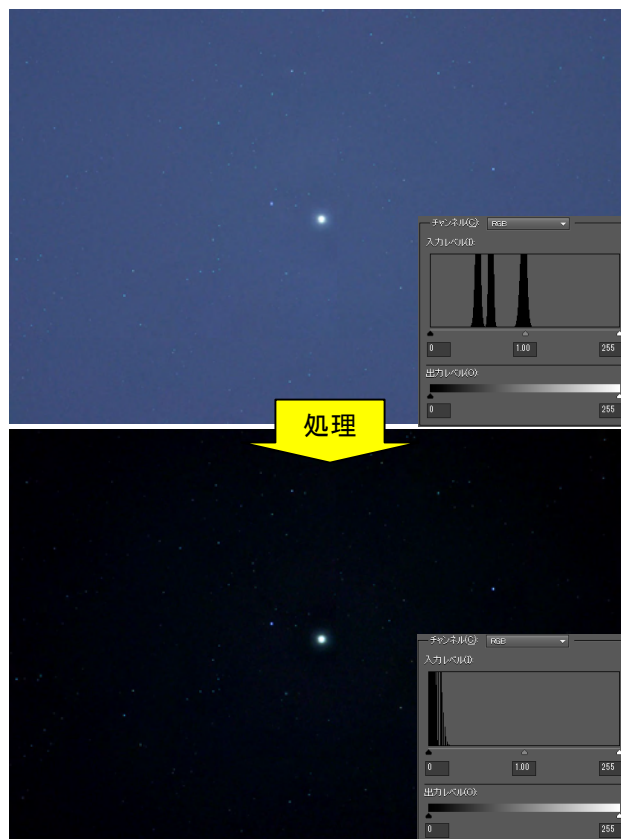
アークツルス付近

月の影響無し

## 【フィルタ無し】



## 【フィルタ有り】



以上